

展覧会 exhibition

日時 2020/11/5 (木)・10 (火) 11 - 20 時 (11/5のみ16時開場)

場所 北千住B.U.O.Y (東京都足立区千住仲町49・11)
展示作家 琴仙姫、竹川宣彰、山本浩貴 + 高川和也

Artists: Soni Kum, Nobuaki Takekawa, Hiroki Yamamoto + Kazuya Takagawa

オンラインシンポジウム online symposium

日時 2020/11/5 (木) 19 - 21 時 要予約

登壇者 琴仙姫、高川和也、高嶺格、竹川宣彰、毛利嘉孝、山本浩貴、李静和
Speakers: Soni Kum, Kazuya Takagawa, Tadasu Takamine, Nobuaki Takekawa,
Yoshihika Mouri, Hiroki Yamamoto, Chonghwa Lee

朝露

あさつゆ

Morning Dew

*A joint project between the artist
and ex-"returnees" who defected
from North Korea to Japan*

日本に住む脱北した元「帰国者」とアーティストとの共同プロジェクト

プロジェクト「朝露」とは

『朝露』は、日本に住む脱北した元「帰国者」とアーティストとの共同プロジェクトである。現在日本には約200人あまりの北朝鮮からの脱北した元「帰国者」が住んでいる。日本に住む脱北者の多くは1960年代後半から70年後半にかけて行われた「帰国事業」により北朝鮮に移住していった在日朝鮮人たち、或いはその子孫たちである。彼らは当時「地上の楽園」として報道された幻想を信じ移住して行った。殆どは現在の韓国出身の在日朝鮮人たちであった。見ず知らずの土地に移住した「帰国者」たちはその後、朝鮮戦争復興の貧窮真っ直中にある北朝鮮で過酷な生活を余儀なくされることになった。日本に住む元「帰国者」は、脱北したという事実を隠す必要に迫られている。隠さないと日々の生活に困難を経験するため。このような状況下で、実際に日本で暮らす脱北した元「帰国者」の人々に、それぞれのアーティストが会いに行く。話を聞いたりする経験をおして作家達自身がインスピレーションを培いながら、作品制作と展示に繋げていく。個人的な出会いを通して作り出されたそれぞれの作家の作品を、展示とシンポジウムの形で発表し、ディスカッションの輪を広げていく。

プロジェクトのタイトルである「朝露」は、韓国の80年代の学生運動で歌われた歌であり、暗い夜を過ごした後、純粹で美しいものに再生していく様子を象徴している。

琴仙姫(クム・ソニ)

『朝露』はアーティストの琴仙姫を中心に2019年に始まったプロジェクトです。今回、琴がコラボレーションしたいアーティストに声をかけ、意見交換しながらそれぞれが自分なりの方法で日本に住む脱北した元「帰国者」の方やその子孫の方々とコンタクトを始めました。他者の経験を聞き、その背景について知ることを通じて作品を制作し、展示とシンポジウムを行います。

撮影：飯岡幸子

展示作家略歴

琴仙姫

クム ソニ / Soni Kum

アーティスト、映像作家。東京生まれ。2005年カリフォルニア芸術大学(Cal Arts)映像科修士課程修了。2011年東京藝術大学先端芸術表現領域美術博士課程修了。2011年より2015年まで韓国の延世大学などで非常勤講師として働きながら、ソウル文化財団からの支援を受け脱北者たちとのアートプロジェクトを推進。2016年からはポーラ美術振興財団在外研修員としてロンドンにてLive Art Development Agencyのリサーチ・アーティストとして研修。NY apexart(2012)、ロンドン Pump House Gallery(2012)、韓国 釜山ビエンナーレ(2014)、ベルリン MEINBLAU project space(2017)などで展示。 www.sonikum.com

竹川宣彰

タケカワ ノブアキ / Nobuaki Takekawa

1977年東京都生まれ。平面、立体、インスタレーションなど多岐に渡る表現方法で、独自のセンスとユーモアに富んだ作品を制作。国内外で数多くの展覧会に参加しながら、デモなどの路上の活動にも加わり、社会・歴史と個人の関係を常に問い直している。近年参加した展覧会は「理由なき反抗」ワタリウム美術館(2018)、ウラジオストクビエンナーレ(2017)、シンガポールビエンナーレ(2016)、あいちトリエンナーレ(2016)など。 <http://takekawanobuaki.com>

山本浩貴+高川和也

山本浩貴

ヤマモト ヒロキ / Hiroki Yamamoto

1986年千葉県生まれ。2010年一橋大学社会学部卒業。2018年ロンドン芸術大学博士課程修了(PhD)。2013年から2018年までロンドン芸術大学TrAIN研究センターに博士研究員として在籍。韓国・光州のアジア・カルチャー・センター(ACC)でのリサーチ・フェローを経て、2019年まで香港理工大学デザイン学部ポスドクトラル・フェロー。現在、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科助教。

高川和也

タカガワ カズヤ / Kazuya Takagawa

1986年熊本県生まれ。2012年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。近年は、精神病理学や心理学の方法論を参照した映像やドローイング、文章等の作品を制作。主な展覧会に「ソーシャル・エンゲイジド・アート展「社会を動かすアートの新潮流」(3331 Arts Chiyoda, 2017)、「大京都」(京都:Re-Search, 2017)、「ASK THE SELF」(Tokyo wonder site 本郷, 2016)、「screen」(HIGURE17-15cas, 2014)など。

朝露

日本に住む脱北した元「帰国者」とアーティストとの共同プロジェクト

展覧会

日時: 2020年11月5日(木) - 10日(火) 11時~20時
(11/5のみ16時open)

場所: 北千住BUoY 入場料: 500円

週末は作家が在廊予定です。

在廊時間についてはHPをご確認ください。

オンラインシンポジウム

日時: 2020年11月5日(木) 19時~21時

登壇者: 琴仙姫、高川和也、高嶺格、竹川宣彰、毛利嘉孝、山本浩貴、李静和

オンライン配信のみ・無料、要予約。

ご予約いただいた方に配信アドレスをお伝えします。

申込方法: 以下web内のフォームより11/4までにお申し込みください。

www.sonikum.com

主催: 朝露プロジェクト

助成: 川村文化芸術振興財団

ソーシャル・エンゲイジド・アート支援助成

プロジェクトコーディネーター: 岡田有美子

アシスタントコーディネーター: 榎熊冬野、宮川緑

協力: 東京藝術大学大学院映像研究科、RAM Association

お問い合わせ: asatsuyuproject@gmail.com

BUOY

〒120-0036

東京都足立区千住仲町49-11

(墨堤通り側入り口)

東京メトロ千代田線・日比谷線

JR常磐線/東武スカイツリーライン

「北千住」駅出口1より徒歩6分、

西口より徒歩8分

<http://buoy.or.jp/>

